

教科(科目)	家庭科(家庭総合)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年(コース)
使用教科書	実教出版『家庭総合』				
副教材等	実教出版『家庭総合学習ノート』				

1 学習目標

<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を伝承し自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
--

2 指導の重点

<p>就職者の割合が多く、高校卒業後すぐに社会にでる生徒が多いことから、</p> <p>① 一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することを目指します。</p> <p>② 学習内容を科学的・体験的・総合的に理解することを目指します。</p> <p>③ 家庭や地域の中から問題を見だし、それを解決・評価・改善し、生涯を見通して課題を解決する力を養うことを目指します。</p> <p>④ 生活文化を伝承し自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、課題に主体的に取り組んだり振り返ったりして、地域社会に参画しようとする実践的な態度を養うことを目指します。</p>
--

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を伝承し自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を伝承し自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、実験での観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業 時数	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4	○気づく力、築く未来 ○未来を築く ○生活課題を発見し解決しよう ○ホームプロジェクトと学校家庭クラブについて	3	教科書 学習ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・なりたい自分を見つける。 ・今の自分について自己分析し、自分の特徴や長所に気づく。 ・家庭科の授業を通してSDGsを考える。 ・生活課題を発見し、解決する。 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の意義と方法について理解する。 	b b b c a	教科書 学習ノート (記述の点検)
5	○自分らしい生き方と家族	8	教科書 学習ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・自立と共生の意味を理解しこれからの自分自身と社会の在り方を考える。 ・ライフキャリア職業生活における時間の使い方について考える。 ・家族とのかかわり方や家庭の機能の変化等について理解し、家族を支える仕組みについて考える。 ・家族に関する法律の理念や背景、民法の改正点について理解し自分を含む社会の要請を受けて検討改正させていくことを理解する。 	c b b a	教科書 学習ノート (記述の点検)
6	○衣生活をつくる	8	教科書 学習ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・人と衣服のかかわりを考える。 ・衣服の素材の種類と特徴について理解し私たちの衣服にどのように加工・性能改善されているか確認する。 ・衣服の選択から管理までの方法を理解し、衣服の種類に応じた適切な取り扱い方法を確認する。 	b a a	教科書 学習ノート (記述の点検)
7	○定期考査	1			a	(ペーパーテストの分析)
	○衣生活をつくる	3	教科書 学習ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した衣生活について自分たちができることを考え、衣生活と世界のつながりについて理解する。 ・受け継がれてきた日本の和服について理解しどのように継承していくのか考える。 	c a・b	教科書 学習ノート (記述の点検)
	○衣服実習	3	教科書 学習ノート DVD 作品見本等	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服製作にかかわる縫製などの技術を習得し、衣作品を製作する。 	a	教科書 学習ノート (記述の点検)
	○ホームプロジェクト	1	教科書 学習ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを生かして、ホームプロジェクトを実践する。(夏季休業課題) 	b・c	レポート (内容の確認)
8	○ホームプロジェクト	2	教科書 学習ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクトの実践発表をする。 	c	(発表への取り組み状況)

9	○子どもとかかわる	8	教科書 学習ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う子どもを育てていくこと の責任を考え、10代の健康が将来生まれてくる 子どもにつながっていることを知る。 ・子どもは、親や保育者など身近な大人と かかわりあいの中で発達していくことを 理解する。 ・子どものからだの成長の様子を知る。 ・子どもの基本的な生活習慣や社会的な生活習 慣がどのように身につくのかを知る。 	a a a a	教科書 学習ノート (記述の点検)
10	○子どもとかかわる	4	教科書 学習ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの食生活や衣生活について学ぶ。 ・子どもの遊びの意義や課題について考 える。 ・子どもを産み育てる意義について知る。 ・親子にかかわる課題と解決方法を考 える。 	a b a b	教科書 学習ノート (記述の点検)
	○次年度に向けて、 保育実習用おも ちゃも製作	4	教科書 学習ノート	・これまでの学習を生かし、保育実習に向 けておもちゃを製作する。	b・c	(計画書の点 検・作品の完 成度)
11.	○高齢者とかかわる	6	教科書 学習ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者への理解を深め高齢社会・超高 齢社会といわれる日本現状の課題を理 解する。 ・加齢に伴う高齢者の状況を客観的に理 解し、個人差があることを理解する。 ・高齢者と家族とのかかわり、経済、社 会での活躍を知り、高齢者の生活課 題について考える。 ・介護が必要になった高齢者に対しど のような心がけが必要なのか理解す る。 ・日常生活を手助けできる介助の技術 を身につける。 	a a b a a・b	教科書 学習ノート (記述の点検)
12	○定期考査	1				ペーパーテ ストの分析
	○社会とかかわる	3	教科書 学習ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉」という意味について考え、社 会保障制度のしくみなど理解し、将 来に向けての課題に気づく。 ・私たちの暮らしは支え・支えられて 成り立っていることを考える。 ・ボランティア活動や地域社会でのさ まざまな活動の意義について理 解し、積極的に かかわる。 	a b c	教科書 学習ノート (記述の点検) 振り返りシ ート

1	○消費行動を考える	4	教科書 学習ノート	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な消費行動とはどういうことか、多角的に考える。 情報社会における生活情報とは何か、またその適切な活用方法について学ぶ。 契約に関する理解を深め、様々な販売方法を学ぶ 契約に関する法律を理解する。 	b a a a	教科書 学習ノート (記述の点検)
2	○消費行動を考える	6	教科書 学習ノート パワーポイント TV	<ul style="list-style-type: none"> 問題商法を未然に防ぎ、早期解決の方法を考える。 多様な支払い方法を学び、消費者信用の制度を理解する。 消費者と事業者の格差を理解し、消費者の権利と責任を考える。 これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を検討する。 日常の生活が地球環境問題やグローバル社会の諸問題と密接に関わっていることを理解する。 持続可能な社会の実現に向けた消費行動に考えて実践する。 	b a a b a c	教科書 学習ノート (記述の点検)
	○定期考査	1			a	考査点
3	○これからの人生について考えてみよう	4	教科書 学習ノート	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージの中で出会う発達課題について知り、これからの人生について考える。 人生をデザインするうえで必要な要素を知る。 こんにちの社会背景を踏まえて具体的に生涯にわたる生活設計をする。 	b a c	教科書 学習ノート (記述の点検) ワークシートの

計70時間 (50分授業)

6 課題・提出物等

- 定期テストの他に小テストを実施することがあります。
- 授業の内容を教科書や学習ノートに写す時は、自分なりのメモや考えも書き込むようにしましょう。

7 担当者からの一言

大人になる準備として大切な学習内容ばかりです。1時間ごとの授業を大事にしましょう。そのために、休み時間中に教科書等の準備を済ませ始業のチャイムを待ちましょう。

これからは、自身や社会にさらに関心を持ち、家庭科の学習が終わる頃には「自ら課題を解決する力」がついていることを目指しましょう。

2年生でも継続して履修します。教科書や学習ノートは捨てないで保管しておいてください。

(担当:)